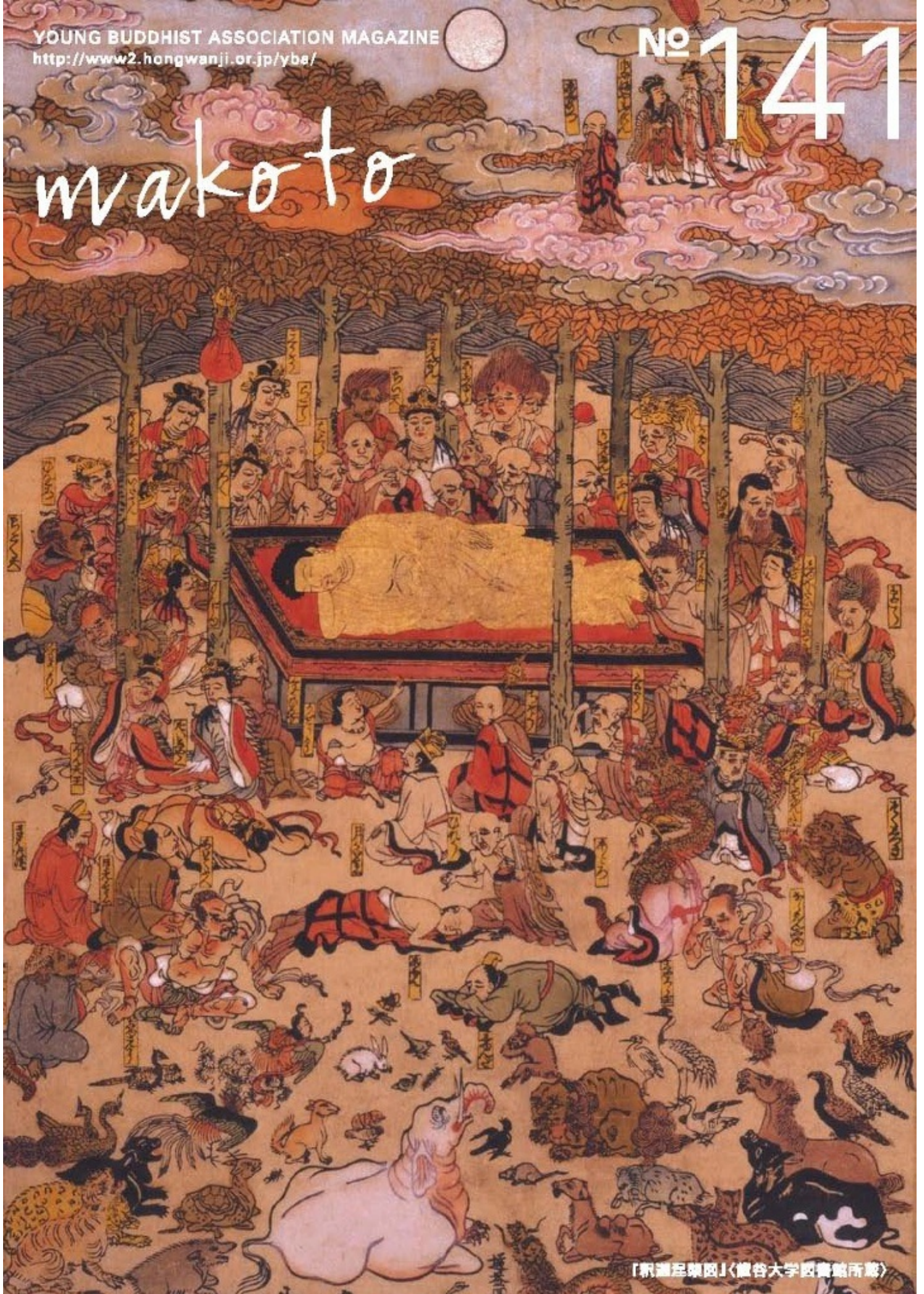


wakoto



「釈迦涅槃図」(鎌倉大学図書館所蔵)



今回のテーマは「集う」。

私たち浄土真宗本願寺派では、

宗祖親鸞聖人七五〇回大退忌法要に向けて

さまざまな集いが催されています。

今回は、私たち青年層に於ける伝統ある行事や

最近行われた研修の報告など、

さまざまな「集う」をまとめてみました。

makoto No.141

【集う】

- 02 麗谷大学 創立記念降誕会
ちょうちん行列
文・中山 真瑠子
- 04 【スペース・アジア】ネパールの旅
遠いアジア
文と写真・加藤心樹
- 07 【連載】仏教のお話
彼國の便り
文・萩 隆宣
- 08 【レポート】近畿ブロック研修会
法然聖人を訪ねて
文と写真・藤原 慈信
- 10 【2009全国真宗青年の集い】開催地の紹介
富山へ来られ。
文と写真・日下 賢裕
- 12 告知
- 13 編集後記
STAFF VOICE

編集

《仏教青年連盟 広報委員会》

加藤 心樹・本多 聡・日下 賢裕・平 さとみ
宮崎 寿洋・中山 真瑠子・藤原 慈信

ちよら 行ちよら 列んら



皆さん『降誕会』って知っていますか？難しいですが「ごとうたんえ」と読みます。浄土真宗では、宗祖親鸞聖人のご生誕日をお祝いする行事を宗祖降誕会といいます。聖人のご生誕日である5月21日と前日の両日にかけて、本願寺では盛大に法要が行われています。

実はこの降誕会、京都の学生の力によっても、約120年前より集いが行われています。

かつて京都のお坊さんの学校では、「親鸞聖人のご生誕日をもっと盛大に祝おうではないか」と、学生たちが行事を行ったそうです。

当時の資料によると、お祝いの言葉を英語・ドイツ語・フランス語など6カ国語で述べられたのだとか。国際的ですよね。

その学校は時代と共に発展し、その流れを継いだ京都の龍谷大学では、今も学生の力で降誕会を行っています。また、降誕会と龍谷大学の創立記念日が同日であるため「共にお祝いしてもっと盛り上げよう」ということから、今は名前を改めて『創立記念降誕会』という行事になっています。



創立記念降誕会の行事の中には「提灯行列」という大きな催しがあります。京都には四条通りという大きな通りがあり、その一部を貸し切って、2000人もの学生や一般の方が提灯を持って練り歩きます。夕方に行われるその姿はとても幻想的で、四条通りを通行される方にも見て楽しんで頂いています。

学生の力って本当にすごい。学生の勢いほどパワーがあるものはないと思います。学生たちが自ら「何かをしよう」という気持ちで集う、その行動力には大きな力を感じます。どこまで出来るか分からない。でも、分からないからこそ可能性は無限。そんな若い力で続けてきた創立記念降誕会は今年で88回目を迎えます。約120年前、「降誕会をやるうー」と集った学生たちの意思と行動は今も確かに受け継がれていて、今の集いに届いています。そして、それがまた新しい世代の集いに繋がっていくのだろうと、そう思います。

文・中山真理子(滋賀)



バシュパティナート寺院にて。日常が何でもサマになる。

「スペース・アジア」ネパールの旅 遠いアジア

文と写真・加藤心樹(長崎)

私がカトマンズを訪れたのは、2008年2月。この頃は、ちょうど選挙前のアモ行進や、ガソリン不足で給油所には日本では想像できないくらい長蛇の車両が道路を埋め尽くしていた。ネパール人に聞くと、ひどい時には何日も給油所で待たなければならず、実際に外国人向けのツーリストバスも、ガソリン切れでツアーが休止になったりするのだという。日本だったら確実に混乱が起きても仕方ない状況だが、ネパールでは比較的穏やか、というよりは慣れているといったほうが正しいか。後日、240年続いた王制に終止符を打ち、本格的に民主化へと動き出すこととなるネパール。そんなまだ〈王国〉の頃の旅である。

今回、私が楽しみにしていた二つがボダナート寺院。ここは映画『リトルブッダ』のロケ地にも使われた場所のようだ。

余談だが中学生の頃、私は同じクラスの友人とよく映画談義に興じていた。どちらがよりマイナーな映画を見ているか、話の内容を理解しているか、そんな意地の張り合いともいえる毎日を送っていた。そんな頃に公開になった映画が『リトルブッダ』だ。当時はアクション全盛期なので、こういったジャンルの映画はマイナーの部類に入っていたのかもしれない。それでも、そのロケ地に来ようとは、あの頃の私からすると夢にも見なかった話である。

現在では観光寺院としての趣きが強く感じられたが、やはりここにも人々の生活としての空間を感じた。篤信の信者ともいふべき姿もちらほら見受けられるが、恐らく日本人の想像する信者とはまるで違う。個人の生活とその寺院の空間が、当

然という言葉が必要ないほどの当然なのだ。かつての日本のお寺にも似たような姿があったのだろう。参拝に来る人、通り道にする人、ものを売る人、弁当を食べる人。どこか懐かしく感じながら、寂しさも同時に感じながらボダナート寺院をあとにした。

次に訪れたのは、ネパール最大の寺院であるバシユバティナート。ここはヒンズー寺院でもあるのだが、火葬場でもあり、亡くなった方を荼毘(だび)に付す場所でもある。ここはホスピスも隣接しており、死、そして火葬というものが人々の生活の自然の営みとしてあるように感じた。ここまで来ると、やはり日本という国は生活の豊かさを得た面、失ったものも大きいと感じられずにはいられない。

これまでインド・ネパールと旅をしてきたが、宗教の趣きは違えども、生死の問題を言葉でなく強烈に肌で感じられる場所がアジアにはある。

これが泥臭いと感じるか否かは人それぞれだろうが、もちろんそのアジアの中にある現代の日本であっても、必ず伝えなければならぬものがあるはずだ。なぜなら、私たちの国は仏教が伝わった国なのだから。



ボダナート寺院にて。やっぱり日常がサマになる。



お釈迦さまが、お情りの境地(涅槃)に入られるお姿。集うさまさままないのちー。「集う」意味ってなんですか。

釈迦涅槃図
龍谷大学図書館所蔵

彼國の便り

文・荻隆宣(仏教青年連盟指導員)

つどい

数年前、素敵な広告に出遇った。とある時計店のポスターなのだが、そこには「にんげんの時間」と題してこのようなコピー(広告文)が書かれてあった。

ひとりがすると一時間かかることを、

ふたりがやれば三〇分で終わる。

ひとりがすると一ヶ月かかることを、

三〇人でやれば一日で終わる。

人類が何千年かけても

まだできないこと。

みんなでやれば

一日で終わるかもしれない。

そう、平和なんて、

一日あればできるはず。

手帳にメモして以来、何度も繰り返し読んでいる。平易にして奥が深く、難題を簡潔に切り取って提示するこのコピーを眺めていると、ちよつぱり元気になる。

仏教は様々な仲間と出遇うことができる。尊敬できる人、刺激を与えてくれる人、たまには意見が合わず衝突する人もいれば、苦手だと感じる人と出遇うこともある。仏教なんて面倒だから一人が気楽なんて思うこともある。

自分と同じ人は一人もいない。気が合つてもよし、合わなくてもよし。いずれも繋がりを持つからこそ感じるのであつて、ギクシヤクするのもまた仏教。みんな阿弥陀如来の切なる願ひの中にある存在だ。

かけがえのない存在であると気づかされた一人ひとりが、お互いの違いを尊重し、その繋がりが確認できた時、それはそのまま私のよろこびとなり、行動へと変わる。

親鸞聖人750回大遠忌法要のスピーチは「世のなか安穩なれ」。一人ではなくみんなでやれば、決して絵空事ではないはずだ。



【レポート】近畿ブロック研修会 香川の旅
法然聖人を訪ねて

平成21年2月14日から二日間にかけて、近畿ブロック仏教青年連盟の研修会が行われた。

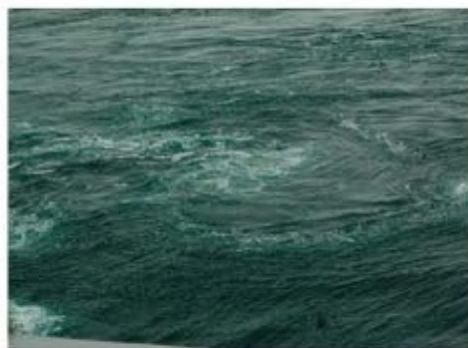
開催趣旨は、ご流罪に遇われた法然聖人のご遺跡を巡りながら、2010年に開催される「全国真宗青年の集い 近畿大会(仮)」へ向けて知識と交流を深めようとするもの。

まず訪れたのは、本願寺塩屋別院。そこでは塩屋別院の建立から現在にいたるまでのご苦労や、妙好人の庄松(しょうま)さんのお話を伺った。「後生の一大事とは、このわたし。火事だ。」(詳しくは、お調べください)

次に訪れたのは、檀堀(かいほり)の正宗寺。ここは法然聖人がご流罪に遇われ、浜に辿り着かれた際に、檀で掘られた井戸が残っている。そこは砂浜であったにもかかわらず、法然聖人がお掘りになられたその穴からは真水が出たという。現在でもその井戸は生きて



覆鞍富士こと飯野山



鴨門の渦潮



本堂にてお話を聞く(法然寺)



この櫃で井戸を廻られた(正宗寺)

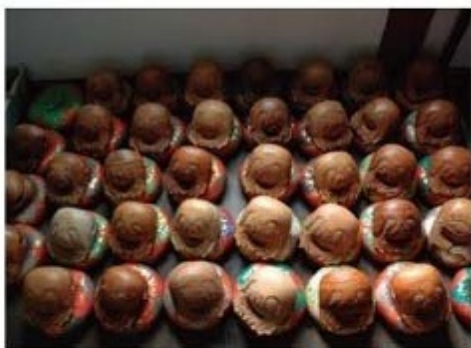


お寺ならではの風景(法然寺)



今も生き続ける灌漑の井戸(正宗寺)

いる。
 翌日、この研修のイベントとして訪れた中野うどん学校。ここでは讃岐うどんを手作り体験した。愉快過ぎたレクチャーに戸惑った。最後に訪れたのは、浄土宗法然寺。本堂に親鸞聖人のお木像がご安置されているのには驚いたが、そのあと案内された三仏堂(涅槃堂)には旺盛。言葉も出ない。この冊子の表紙に釈迦涅槃図があるが、それが立体で再現されている。撮影禁止なので、写真で紹介できないのが残念だが、限りあるお堂の空間が、無限の宇宙を切り取ったような空間にも感じられた。
 二日間にかけて行われた研修は、私の知識と交流を確実に深め、近畿ブロック仏教青年連盟が、2010年の全国真宗青年の集い近畿大会(仮)へ向けて、いよいよ本格始動した研修だった。



The 木舟(法然寺)



とにかくテンションが高かった、中野うどん学校長。

富山へ 来られ。

今年の全国真宗青年の集いは、
名峰立山の麓、富山県富山市にて
行われます。

そこで、今回は富山市のおすすめ
スポットをたっぷり大特集！
きつとあなたも、富山が好きになる！

文と写真・目下 賈裕(石川)



富山市の西にある具
羽山。山の展望台から
は市内が一望でき、立山
の美しいパノラマが楽し
めます。

さらにこの山の麓には、
いくつかの見どころが集
まっており、富山の文化
に触れるにはもってこい
のスポット。

まずは長慶寺の五百
羅漢。石造りの羅漢さ
んたちがズラリと並ぶ
景色は圧巻。羅漢さん
たちの姿や表情は、一つ
として同じものはなく、
くまなく探すと自分に
そっくりな羅漢さんが
見つかるかも？

他にも民俗民芸村と
いう施設群では、富山の
考古・民俗資料が展示
された施設に、合掌造の
資料館や、「富山の菓売
り」についての資料館な
どがあり、ここに来るだ
けであなたも一気に富
山通に！



富山の菓売りは全国的にも有名。



長慶寺の五百羅漢。誰かに似てる？

富山市の北部に位置する岩瀬。この町はかつて、北前船の交易によって大きく栄えた海商の街でした。

その街並みは今も残っており、旧街道沿いには回船問屋の旧家や、出格子を備えた古い建物が点在し、趣ある風情が深いです。

その中でも、北前船の交易によって栄えた「森家」の建物は、国の重要文化財にも指定されており、当時の豪商の生活や、いかにして交易で利益を上げたのかなど、名物館長が詳しくガイドしてくれます。

街並みも電柱が廃されるなど、きれいに整えられており、三角どら焼きのお店や、造り酒屋のお店もあったりと、古き良き時代を偲びながら、ぶらり散策するのもとってもいいです。



国の重要文化財「森家」。



奥深い森家の内部。ここで團圓が行われた。

富山の名物と言えば、そう「ますの寿司」。駅弁としても有名なますの寿司ですが、富山市内には今も30社ほどの業者があって、それぞれの会社ごとに酢飯の味や、鱈の味付けが異なっており、食べ比べるといろんなタイプがあるのだとか。駅弁は一社のものしか無いようですが、富山駅の近くにいっくつかお店があるので、違いますの寿司をいくつか買って、友達と食べ比べなんてことも面白いかも。とにかく、お土産はこれで決まり！



鯛に白エビ、ホタルイカなど、美味しい海の幸豊富な富山。しかし富山と言って、もうひとつ忘れてならないグルメは、そう「ラーメン」。富山の名物ラーメンは、ただのラーメンではないのだ！その名も、「富山ブラック」！

名前の通り、スープが真っ黒。醤油の色そのまま。その色に圧倒されながらも、まずはスープを一口。「むっ、しょっぱい！」けれど、刺々しい嫌な塩辛さではなく、むしろスープ自体はあっさりとした感じられる。しかも、たっぷりかかった黒コシヨウがいいアクセントとなり、自然とスープが飲めてしまう。麺はモチモチとした太麺で、食べ応え十分。まさに「働く男の食べ物」と言った感じ。

富山に来たら、この「富山ブラック」にもぜひチャレンジ！



黒い…まさか「ブラック」！



「ぜひ、食べに来られ」と、名物マスター。



**2009全国真宗青年のつどい
富山大会 in 立山
2009 8/8(sat)~9(sun)**

お問い合わせ 実行委員会事務局 (富山教区教務所) ☎076-421-6672



2009全国真宗青年の集い 富山大会 in 立山

日時：2009(平成21)年8月8日(土)~9日(日)

会場：立山国際ホテル

お問い合わせ：実行委員会 事務局(富山教区 教務所内)

電話：076-421-6672

STAFFVOICE

編集後記

加藤 心樹

宇宙ブームが過ぎてしまいました。そしてこの号が出る頃には、ハネムーンに旅立ちます。某旅行代理店で宇宙旅行というものを発見しましたが、金額を見て断念(当たり前か)。ならば地球の宇宙であるアジアへ。次は、いざラオスへ。嫁に仏教のある国は勉強になるからという、最たる大義名分のもとに「まこと」の記事に使える国を選んでしまうこの憎たらしい性格。一生ビーチリゾートなんぞには行けそうにもありません。まあ、そんな自分が好きなんです。だんだん文章の口調がオヤジ臭くなるなあ……。

本多 聡

今回のまことのテーマは「つどい」。「集い」「集まること。集まり会合。」「集う」「集まる・寄り合う」と書いてありました。仏教青年連盟つてまさに「集う・集い」に相応しい言葉だと思えます。みんな集いましょう！

日下 賢裕

今回、富山の取材をさせていただきました。お隣の県に住みながら、全然知らないことだらけでしたが、案内をお願いした方のおかげで、取材を忘れて楽しんでしまうほどでした。皆さんも全国大会で富山にお越しの際は、時間の許す限り、富山を楽しんでくださいね！

平さとみ

人が集まる所に行くと、元氣や勇氣といったエネルギーを貰えますね。自分の限界を考えず、動き過ぎてすぐバテてしましますが。一人の時間と、集う時間が程よく持てる生活を心がけたいです。

宮崎 寿洋

編集後記で何を書こうか思いつきませんでした。やばいです。日々面白い文章には劣せず運でできるのですが、自分が書くことを意識して読まなかったのが原因でしょうか。また、日記を書く習慣を持ち合わせてないのも一因だと思います。つまり何が言いたいのかといえば、自分の苦手としていることから目を背けず向き合うことで、人は何歳になろうと成長できるのだと思います。ということ、で、続かないのを覚悟で日記をつけようと思いますが、せめて二日はもたせたいです！

中山 真理子

初めての記事を書きながら、自分の思いを相手に伝えるって難しいと痛感。私は今年で引退で、熟成されたたんえ酒けの出来上がり。たくさんの人に会えてたくさんの方のことを学びました。ありがとう。

藤原 慈信

こないだお参りさせてもらった、仏間にストーブ点けてもろとつて、そんとき自分の口から「有り難い」つてこぼれてん。でも待つてヨ。そやつたらストーブ点いてへん家が有り難くなくなつてまうやん……なあ、そうちやうん？それはアカンやろ。なんでも自分中心で良し悪し付けたらアカンもんなあ。でな、よう考えたら、なんが有り難いんか分かってきたようなあ気がしてん。さて、なんが有り難いんでしょう。

wakoto No. 141

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟機関紙 2009(平成21)年3月25日発行 印刷：創文堂印刷株式会社
編集／発行：仏教青年連盟 広報委員会 〒600-8501京都市下京区堀川蓮花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 宗務所内 TEL:075-371-5181(代)



ケータイにも
ブツデイズム
（口）人

Onenju Strap

お念珠型ストラップ
全10色 好評発売中!

各 550円(一般価格) / 500円(連盟価格)*

お問い合わせ：浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟 教材委員会
TEL:075-371-5181(代) yba@hongwanji.or.jp

*連盟価格とは、仏教青年連盟に加盟されている方の価格です。